

【技術の名称】 アサンテ後施工開口補強工法 －無筋基礎開口補強－	性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-07号 性能証明発効日：2018年1月19日 【取得者】 株式会社アサンテ
---	--

【技術の概要】

本技術は、戸建て木造建築物の無筋の布基礎（基礎梁）部にシロアリ防除処理のために設ける人通口の後施工開口補強工法である。補強金物は、下金物・台形金物で構成され、金物どうしを高力ボルトで接合し、後施工アンカーで躯体と接合される。分割した金物を使用することで床下の狭小空間での施工を可能としていることが特徴である。躯体切り欠きを行ったままであれば曲げひび割れが早期に生じるが、本技術によれば、無補強に対する補強部の曲げ耐力は約1.7倍程度とすることができ、人通口周囲の躯体に有害なひび割れが生じることを防止できる。

【技術開発の趣旨】

無筋の布基礎部の人通口施工のための躯体の切り欠きは構造性能の低下につながる。一般の施工では切り欠き部をコンクリートで充填するのみ等の簡易な補修をされることが多いが、シロアリ防除処理を5年に一度行う必要があることから、再び同様の切り欠き・補修を繰り返す必要が生じる。本技術は、人通口廻りを開発した金物で補強することで、人通口の機能を維持したままで、人通口周囲の躯体に有害なひび割れが生じることを防止するために開発された。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

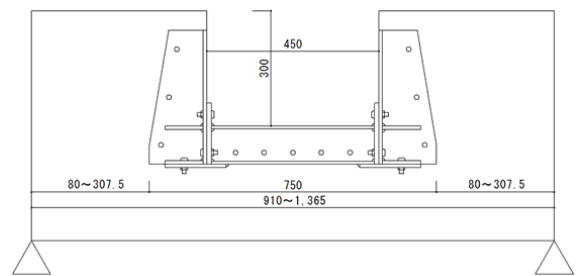
申込者が提案する「アサンテ後施工開口補強工法 調査・設計・施工マニュアル」に従って設計・施工された無筋布基礎（基礎梁）の開口補強部は、長期荷重時、短期荷重時、終局荷重時のそれぞれに対し、同マニュアル

○適用範囲

本施工法は、平成12年建設省告示1347号（以下、告示1347）施工以前に施工された基礎に適用する。併せて、以下の条件を満たす建物の基礎を適用範囲とする。

- (i) 在来軸組構法および伝統的構法の平屋建てまたは2階建戸建住宅で延べ面積は500㎡以下、高さは13m以下、軒の高さ9m以下の規模の建物の無筋コンクリート基礎梁に適用する。
- (ii) 推定圧縮強度（ σ_B ）が、13.5N/mm²以上。
- (iii) 開口部（人通口）のサイズは縦300mm以下×横450mm以下。
- (iv) 布幅は120mm以上150mm以下、高さは開口部下端から基礎梁におけるコンクリート最下部迄が150mm以上300mm以下。
- (v) 直交する布基礎間の寸法が910mm以上かつ1365mm以下の1スパンの基礎。
- (vi) この間に柱及び耐力壁は存在しない。
- (vii) 長期地耐力が50kN/m²以上の地盤に建つ建物の基礎。

○補強概要図



【本技術の問合せ先】

株式会社アサンテ 担当者：佐々木 伸也
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-33-15

E-mail：sasaki@asante.co.jp
TEL：03-3226-1863 FAX：03-3226-8283